

2010年7月15日

長野マラソン組織委員会 共同調査

第12回長野マラソン 出場者アンケート 報告書

(2010年5月10日～5月31日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆ 調査の目的

第12回長野オリンピック記念長野マラソンは4月18日、長野市内の長野運動公園～長野オリンピックスタジアムの前年と同じコース42.195キロで開催した。招待選手、新設された視覚障害者の部を合わせ過去最多の7831人が出場、9割近い6903人（男子5808人、女子1095人）が完走。男子はニコラス・チェリモ（ケニア）、女子はリサ・ウェイトマン（オーストラリア）が初優勝した。

今年も沿道は多くの応援の人でにぎわい、昨年引き続きスペシャルゲストで参加した高橋尚子さんも、市民ランナーを激励しレースを盛り上げた。

長野マラソン大会組織委員会と長野県世論調査協会は、これからの大会運営と長野市のまちづくりのあり方を探るため、恒例の参加ランナーを対象とするアンケートを共同で実施した。

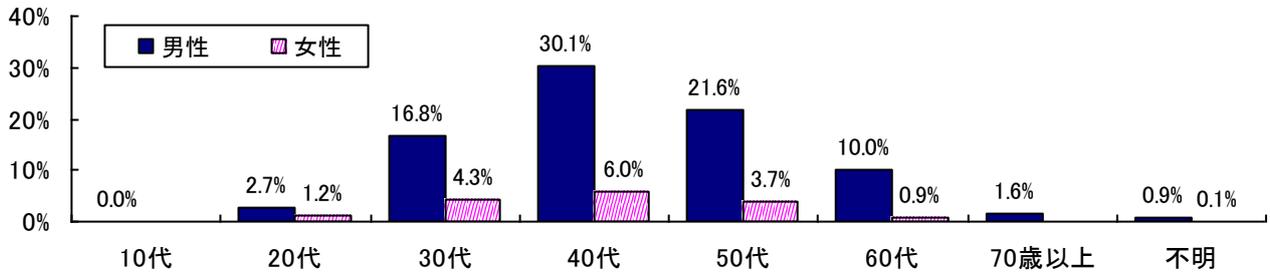
◆ 調査の設計

▽調査対象	国内の出場市民ランナー全員 7647人 (県内3618人 県外4029人)
▽調査方法	郵送（記録証の発送に同封）。回答は郵送、ファクス
▽調査期間	2010年5月10日～5月31日
▽回収結果	有効回収数 2052人 有効回収率 26.8%
▽調査主体	長野オリンピック記念長野マラソン大会組織委員会 社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

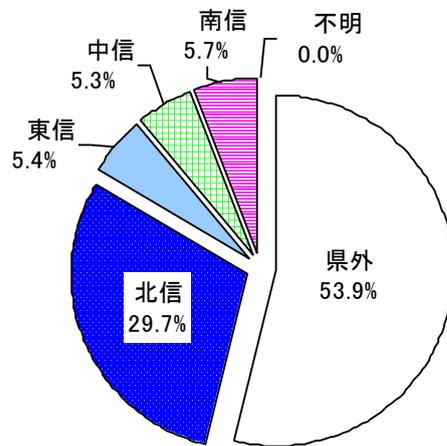
◆サンプルの内訳

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
全体	2052	1	80	433	741	520	224	32	21
	100.0%	0.0%	3.9%	21.1%	36.1%	25.3%	10.9%	1.6%	1.0%
男性	1718	1	55	345	618	444	205	32	18
	83.7%	0.0%	2.7%	16.8%	30.1%	21.6%	10.0%	1.6%	0.9%
女性	334	-	25	88	123	76	19	-	3
	16.3%	-	1.2%	4.3%	6.0%	3.7%	0.9%	-	0.1%



【住所】

県外	1107	53.9%
長野県内計	945	46.1%
北信	609	29.7%
東信	110	5.4%
中信	109	5.3%
南信	116	5.7%
不明	1	0.0%



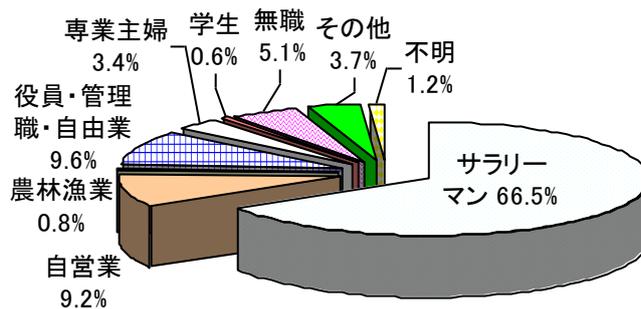
【都道府県】

北海道	3	0.3%
青森	2	0.2%
岩手	3	0.3%
宮城	4	0.4%
秋田	3	0.3%
山形	1	0.1%
福島	6	0.5%
茨城	10	0.9%
栃木	11	1.0%
群馬	32	2.9%
埼玉	125	11.3%
千葉	67	6.1%
東京	235	21.2%
神奈川	116	10.5%
新潟	71	6.4%
富山	24	2.2%
石川	14	1.3%
福井	1	0.1%
山梨	11	1.0%
岐阜	31	2.8%
静岡	30	2.7%
愛知	157	14.2%
三重	27	2.4%

滋賀	11	1.0%
京都	18	1.6%
大阪	44	4.0%
兵庫	18	1.6%
奈良	9	0.8%
和歌山	2	0.2%
鳥取	1	0.1%
島根	0	-
岡山	2	0.2%
広島	6	0.5%
山口	0	-
徳島	3	0.3%
香川	0	-
愛媛	1	0.1%
高知	1	0.1%
福岡	4	0.4%
佐賀	0	-
長崎	0	-
熊本	2	0.2%
大分	0	-
宮崎	1	0.1%
鹿児島	0	-
沖縄	0	-

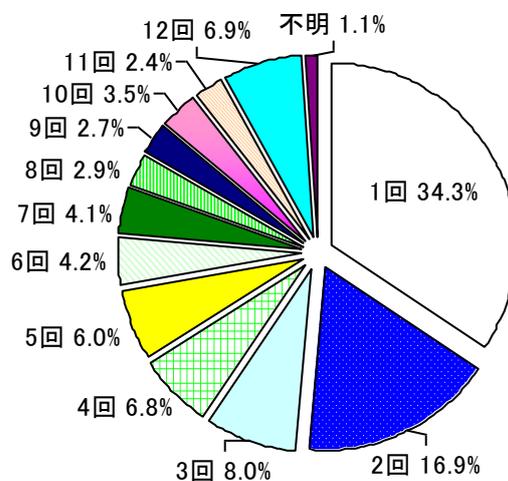
【職業】

サラリーマン	1364	66.5%
自営業	188	9.2%
農林漁業	17	0.8%
役員・管理職・自由業	197	9.6%
専業主婦	69	3.4%
学生	13	0.6%
無職	105	5.1%
その他	75	3.7%
不明	24	1.2%



【大会参加回数】(今大会含む)

1回	704	34.3%
2回	347	16.9%
3回	165	8.0%
4回	140	6.8%
5回	124	6.0%
6回	87	4.2%
7回	85	4.1%
8回	60	2.9%
9回	56	2.7%
10回	71	3.5%
11回	49	2.4%
12回	142	6.9%
不明	22	1.1%

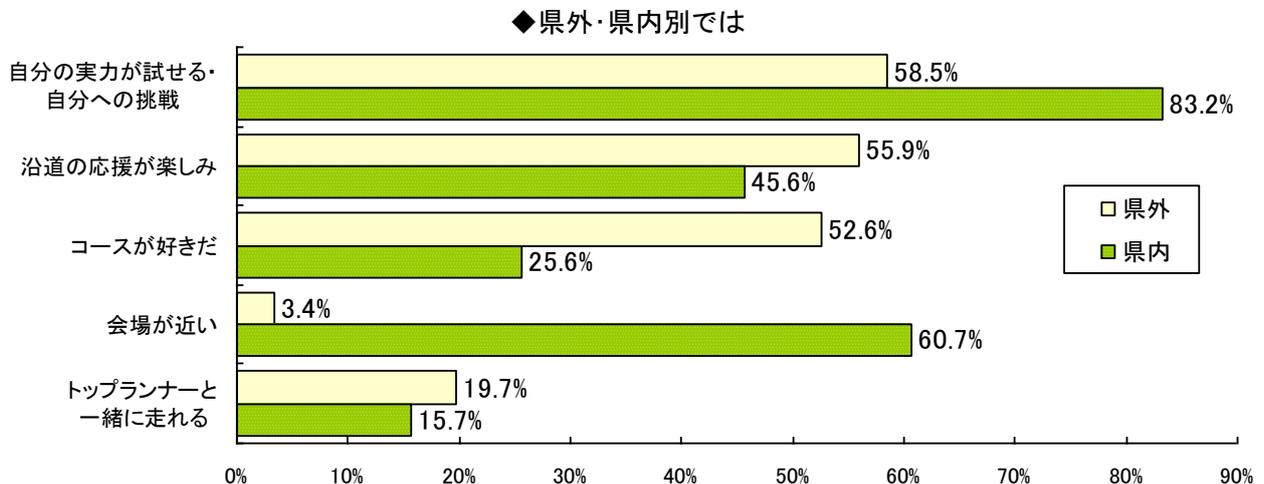
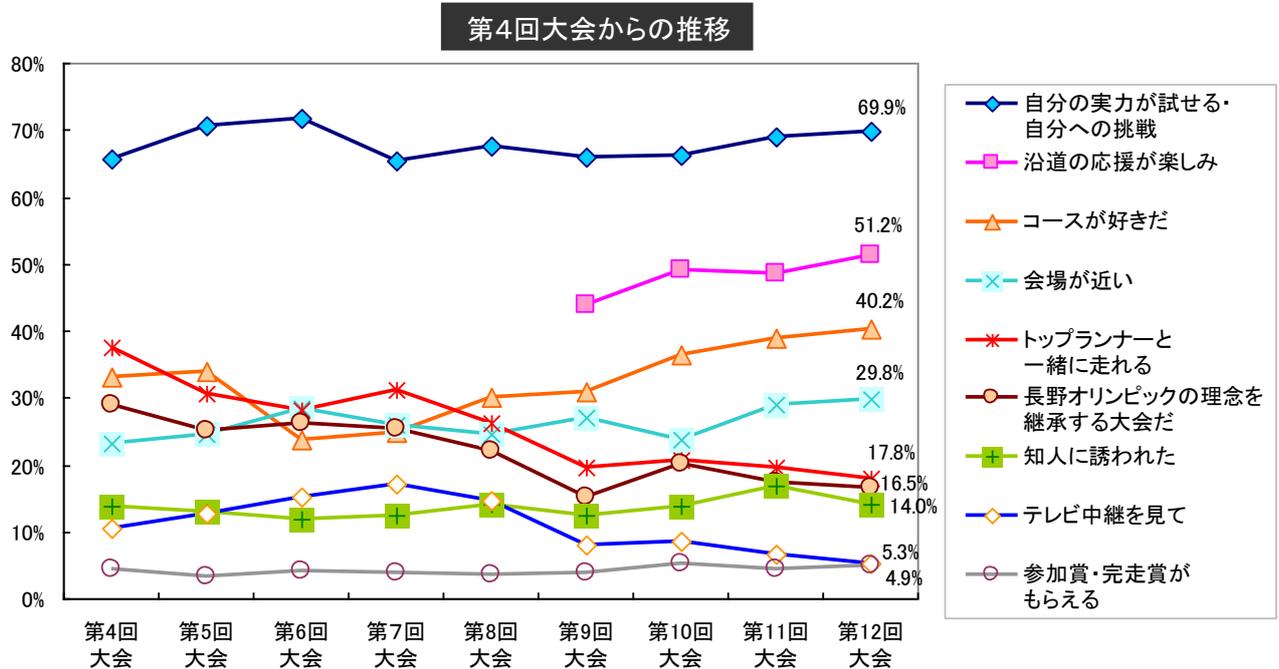


II 結果の概要

長野マラソンに出場して

参加の動機 「沿道の応援が楽しみ」初めて50%突破

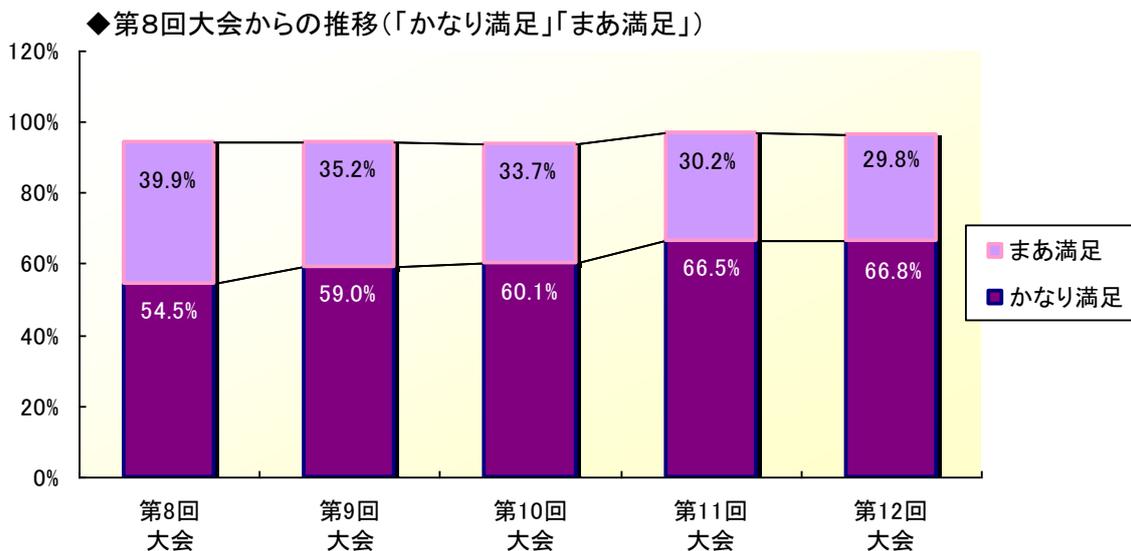
今回も「実力が試せる・自分への挑戦」がさらにアップし、男性は70%を超えた。「沿道の応援が楽しみ」「コースが好き」の上位3つは変わらないが、県外勢はこの3項目にあまり差はない。「沿道の応援が楽しみ」は第9回大会からの調査以来初めて50%を超え、特に県外勢の好感度が高い。県内勢は「実力試し・挑戦」で83%に達し、「会場が近い」が2番目の61%となっている。



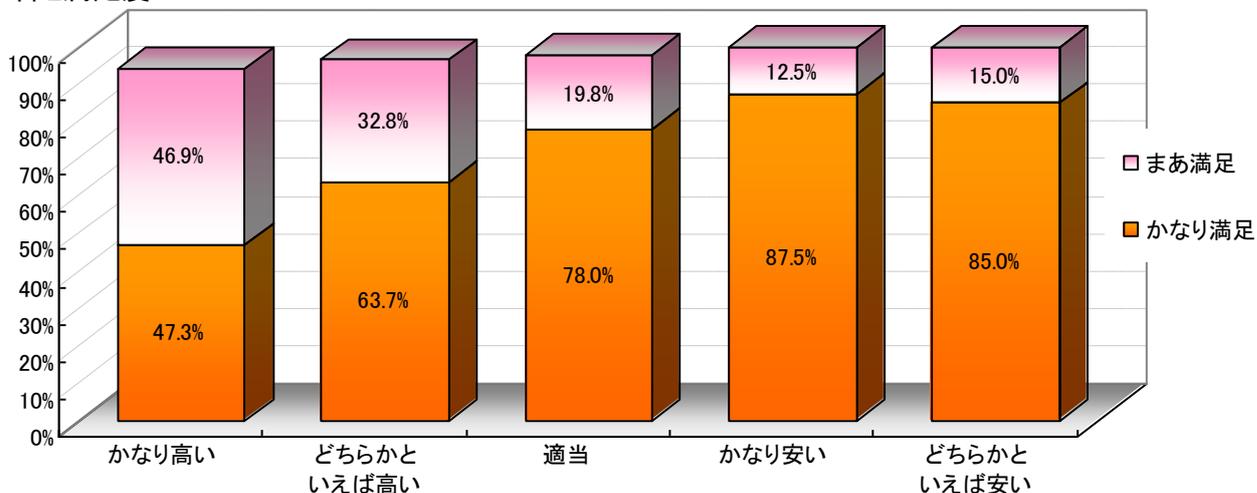
参加しての感想

「かなり満足」初参加の人は 73%

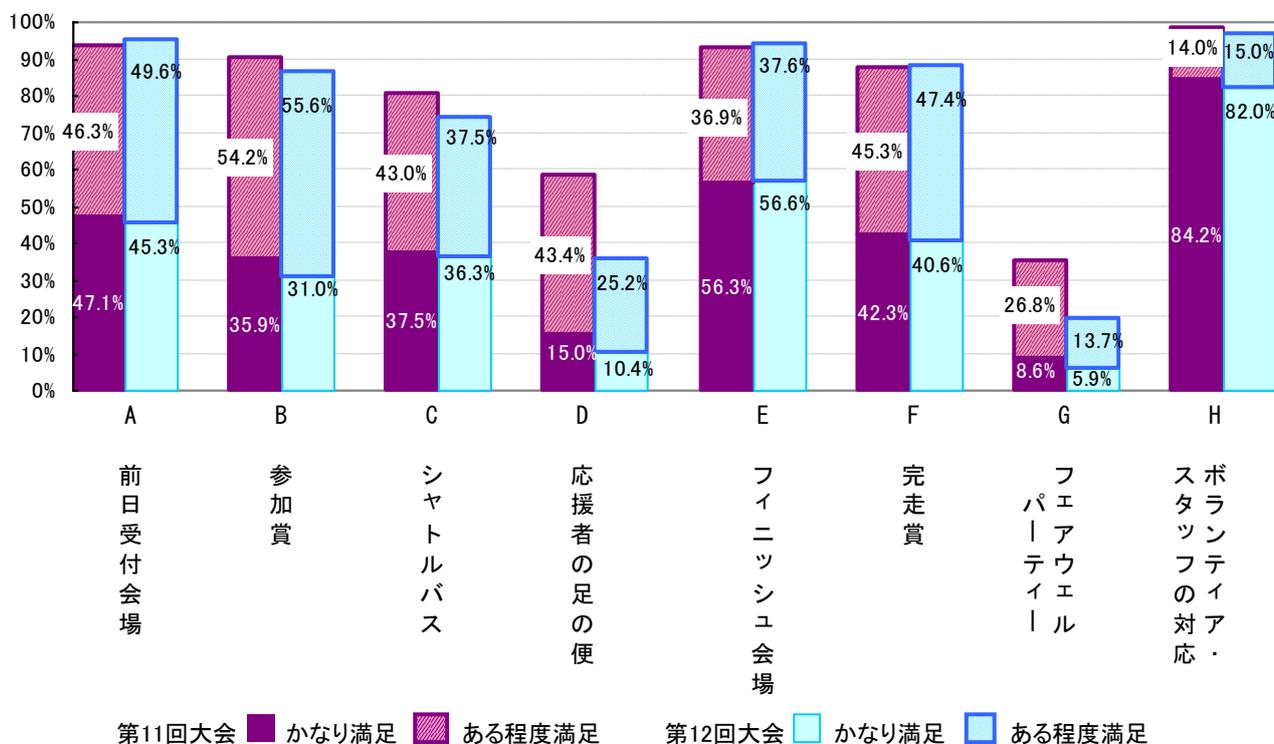
「かなり満足」「まあ満足」の数字は前回とほぼ同じ。初めて参加した人は「かなり満足」が73%に達し、「まあ満足」と合わせると98%になり満足度が高い。男女や県内外の違いもあまりみられない。ただ参加料との関係では、「かなり高い」と答えた人は「かなり満足」が5割を切っている。



◆参加料と満足度



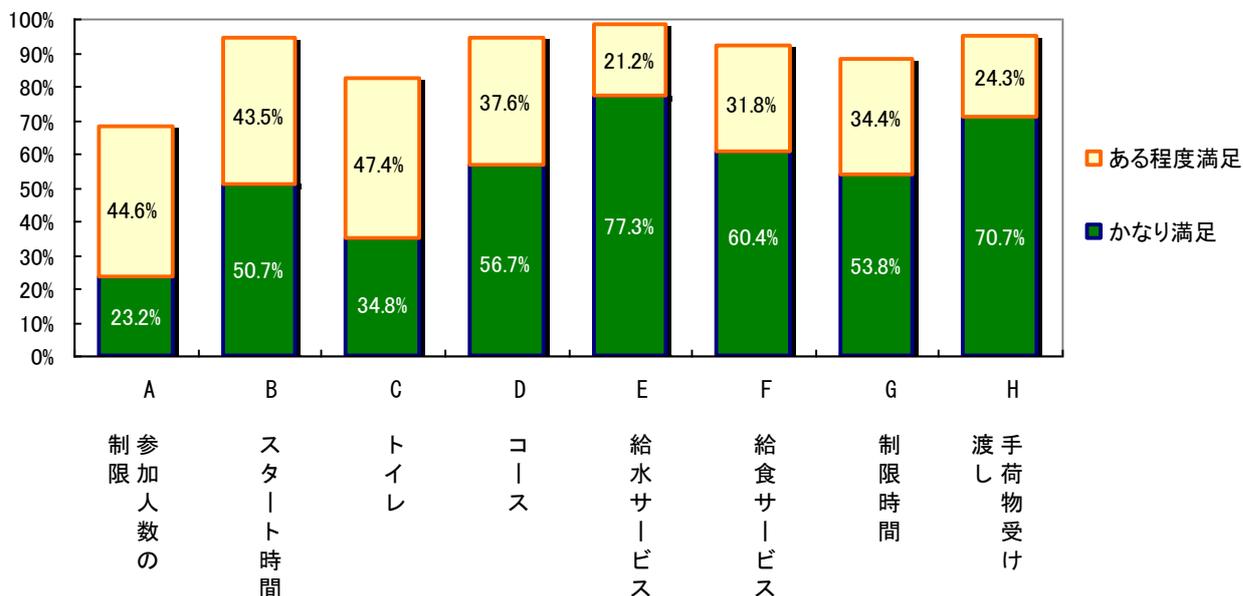
「スタッフの対応」「受付」「フィニッシュ会場」は9割超す



今回も大会運営・催し物の「かなり満足」はボランティア・スタッフの対応が82%と飛び抜けて高い。次いでフィニッシュ会場、前日受付会場と続く。シャトルバスは「かなり満足」と「ある程度満足」を合わせた比較で前回より7%下がった。これらは男女、県内外を通じて、目立ったバラツキはみられない。

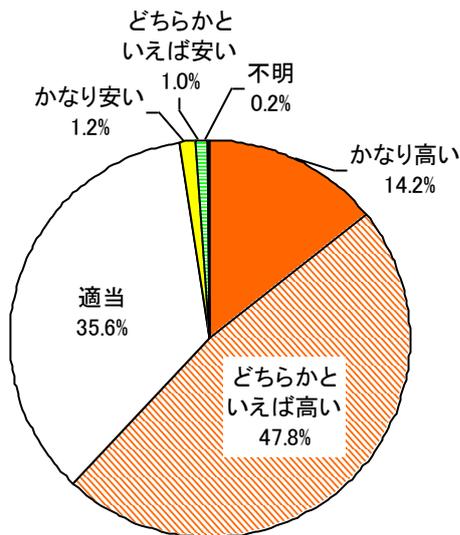
フェアウェルパーティーと応援者の足の便は満足度が低いが、これは利用者が少ないからか不明回答が多い。有効回答だけを見ると7割以上が評価している。

コースの評価、アップの 94%



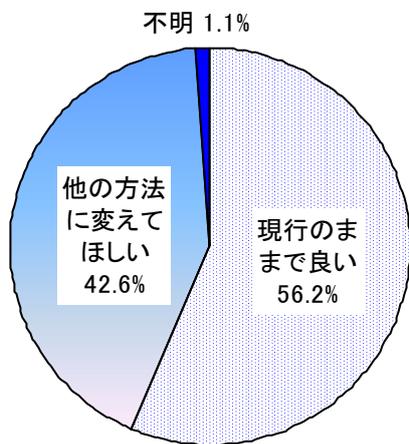
変更後2回目のコース評価は、「かなり満足」が5割を超え、「ある程度満足」と合わせ前回より7%アップの94%だった。満足度トップは今回も給水サービスで、4人に3人が「かなり満足」の答え。「かなり満足」の比較では2位に手荷物受け渡しが入り、給食サービス、コース、制限時間、スタート時間の順。

「かなり満足」は給水が男女、県内外勢で違いはみられない半面、手荷物、制限時間では県外勢が高めになる。低いのは今回も参加人数の制限とトイレ。両方とも女性に比べて、男性の満足度は総体で約8%低い。トイレについては、自由回答で男性の所定場所以外での姿が見苦しいと指摘があった。



評価 参加料 「高い」総体で 62%

今大会から 8500 円になった参加料だが、総体で「高い」は、前回よりやや低下の 62%だった。これは今回の選択に「適当」を入れ、それが 3 割強の答えを得た影響と思われる。「かなり高い」は前回より 11%上昇の 14%。職業層では農林漁業、専業主婦、学生が総体で高いという数字になっている(回収サンプル数が少ないため参考値)。

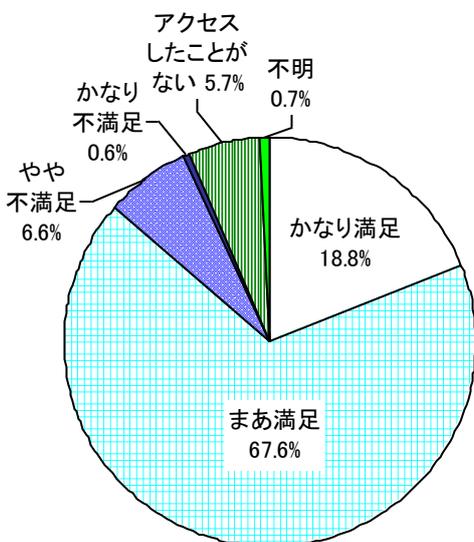


評価 エントリー

「現行のまま」56%

今回からインターネットのみに変えたエントリー方法を聞いた結果は、「他の方法に変えてほしい」が 4 割を超えた。年代別では若い層が「現行のまま」を支持しているのに対して、50 代以上は半数以上が変更を要望している。県内勢も変更要望が半数を超え、県外勢がインターネットを 65%支持しているのと対照的だ。

参加回数別でも、回数が増えるとも変更要望が高くなる。



評価 公式ホームページ

「満足」が 86%

「満足」が総体で今回も 80%台をキープした。県外勢が県内勢より高い評価をしている。20代、30代では「かなり満足」が 20%を超える半面、70代以上では「アクセスしたことがない」が高まる。男女差はあまりみられない。